



学校だより

1月号



令和4年1月11日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

「一人ひとりの子どもを大切にする」

校長 榊原 一紀

新年あけましておめでとうございます。令和4年が始まりました。昨年後半から、新型コロナウイルスの感染者減少によって、遠足やフェスティバルなどの行事を行うことができました。また、12月22日には日光修学旅行に行くことができました。黙食などの制約がありましたが、雪を思う存分楽しみ、よい思い出ができたようです。しかし、今年に入り、感染者が増えてきています。感染状況を見ていきながら、これからの行事などを進めていきます。今後も、ご理解・ご協力をお願いします。

さて、本校の中期学校経営方針にもありますが、多くの学校で「一人ひとりの子どもを大切にする」という目標を入れています。一人ひとりを大切にするとはどのようなことなのでしょう。買い物に行くと、卵はプラスチックの容器などに一つ一つきちんと並べられて売られています。また高価な果物も柔らかなもので丁寧に包まれて並べられています。これらは、互いにぶつかり合って傷つかないように一つ一つを大切にしていることからでしょう。しかし、子どもを大切にするということは、これと同じように、子どもが互いにふれ合ったり、かかわり合ったりしないようにすることではないのだと思います。

学校、学級という集団のなかで様々な経験をしていくと、協力したことでできることが増えたり、思っていた以上の力を発揮できたりすることがあります。また、一人ひとりの個性を認め、かかわっていくと、自分とは違ったものの感じ方や考え方を学んだり、自分の行動を変化させたりして成長していくものです。つまり「一人ひとりの子どもを大切にする」とは、傷つかないようにすることではなく、集団のなかで協働したり、個性を認め合ったりすることを通して、一人ひとりが成長できるように支援していくことと考えています。

集団のなかで様々な経験をすることで、多少の行き違いが生まれることはよくあります。その行き違いを解消するために、知恵を働かせたり、相手を思いやる大切さを学んだりして、自分ごととして解決したことは、今後の人生の糧になる力を育てます。もちろん、行き違いによってストレスを感じたり悩んだりすることもあるでしょう。そのようなときには、「頑張っているね」と励まし、自身の経験を話しながら「失敗しても大丈夫だよ」と伝えてほしいです。また、話を聞くことで安心することも多くあります。それでも、解決しないときには学校に相談ください。

今年も、職員一同新たな気持ちで、一人ひとりを大切にし、学校教育目標「自ら学び やさしい心で たくましく生きる 子ども」の実現のために、充実した教育の確立・創造に向けた年にしていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。